

第2回 高松港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

1. 日時

令和5年12月19日（火） 14時～16時

2. 場所

かがわ国際会議場

3. 出席者

香川大学創造工学部 玉置准教授、株式会社谷グリーンエネルギー研究所 谷代表取締役、
うみのまちづくり株式会社 小西取締役、株式会社日本政策投資銀行 八方次長兼企画調整課長、
高松商運株式会社、ジャンボフェリー株式会社、四国汽船株式会社、四国ドック株式会社、
株式会社マキタ、泉鋼業株式会社、イヌイ株式会社高松工場、高松帝酸株式会社、四国電力株式会社、
四国ガス株式会社高松支店、大同ガス産業株式会社、イワタニ四国株式会社、出光興産株式会社、
湊海運株式会社、香川県海運組合、香川県旅客船協会、香川県倉庫協会、
（一般社団法人）香川県トラック協会、香川県冷凍事業協会、朝日町石油基地共同防災対策協議会、
高松商工会議所、経済産業省四国経済産業局、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所、
国土交通省四国地方整備局、国土交通省四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所、
香川県環境森林部、香川県土木部、高松市環境局ゼロカーボンシティ推進課、
香川県（事務局）、坂出市（事務局）

4. 議事概要

（1）会議の公開について

香川県情報公開条例に基づき、本会議を非公開とした。

（2）高松港港湾脱炭素化推進協議会設置要綱について

構成員に湊海運株式会社を追加することについて説明し、了承された。

（3）脱炭素化実現に向けた高松港の基本コンセプト

高松港の港湾脱炭素化の取組みについて、県の関係部署が集まり検討を行った基本コンセプトについて説明し、了承された。

(4) 高松港港湾脱炭素化推進計画の骨子について

事務局より、高松港における温室効果ガスの排出量（現状）の推計、削減目標等、高松港の脱炭素化実現に向けた進め方（案）等、今後のスケジュールについて説明し、了承された。

【主な意見】

- ・移行期において事業者側の投資回数が増える可能性があるように感じたがどうか。
→ 現在利用されている機械・設備の更新時期に合わせて、段階的な低炭素型等への更新を考えている。複数の投資を求めるものではない。
- ・坂出市との連携は重要、また、香川県以外の港、例えば新居浜港、水島港、姫路港などとの連携についても常にアンテナを張りめぐらせて欲しい。
- ・瀬戸内海全体・四国全体の連携を意識する必要がある。
- ・仕事する車や移動体を中心にエネルギー転換を検討している点を評価したい。
- ・コンセプトの中にサンポート高松のプロムナード化についても記載があり、市民を主役とし巻き込む計画となっているところが良い。脱炭素は総力戦である。
- ・計画の方向性に、ニアゼロエMISSIONの意図が読み取られ実践的な計画だと感じた。
- ・国では、コンテナターミナル認証制度を創設予定である。認証制度にも是非、調整して欲しい。
- ・ブルーカーボンの具体の取組みが挙げられてないように感じられる。ブルーカーボンについても是非、検討していただきたい。
- ・港湾計画と港湾脱炭素化推進計画との関係性を整理し、お互いに織り込む必要がある事項は織り込んでいただきたい。
→ 高松港の港湾計画は現在改訂作業中であり、本計画の内容について織り込むべきことは織り込みたいと考えている。
- ・高松港は乗降客数が多い港である。住民や観光客など、潜在的なステークホルダーがいることがポイント。一般の利用者目線での議論もあると良い。

(5) 最新の水素事業の取組み

イワタニ四国株式会社様より、最新の水素事業の取組みについて説明があった。

(6) その他

特になし。